

## 1. 略歴

1992年	University of California, Los Angeles Ph.D
1992年	京都大学大学院文学研究科博士後期課程
1992年4月	名古屋明德短期大学講師
1995年4月	日本福祉大学情報社会科学部助教授
1999年6月	名古屋大学情報文化学部助教授
2001年4月	名古屋大学大学院環境学研究科助教授
2006年10月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2010年8月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

社会心理学

### b 研究課題

- 1) 心の知覚と道徳的判断
- 2) スマートシティにおける諸技術への態度
- 3) 学際研究における社会心理学の役割—科学技術の ELSI を事例として

### c 概要と自己評価

#### 概要

- 1) 心の知覚と道徳的判断：近年の社会心理学は、私たちが道徳的事柄、公正さに関心を抱く「モラル・エージェント」であるという人間観を提出している。この研究課題は、他者の心的状態（意図・動機・態度・感情など）の推論に基づき他者を「裁き」の視線で評価し、そこでの評価に基づき、「援助、非難、許し」などの道徳的な態度・行動を他者に向けての点に着目し、モラル・エージェントを支える社会的認知過程を解明することを目指す。またその過程で、ステレオタイプの対人判断にも着目する。ステレオタイプは偏見の認知的基盤であり、しばしば他者を善悪の観点から評価することにつながる。その過程に関連する諸要因を解明し、心的状態の認知の変容が偏見的態度の低減につながる可能性、またそれを媒介する社会的認知過程を探求する。この課題については、科学研究費（基盤研究（B））により推進しており、対象を対人判断のみならず AI に対する心の知覚にも拡張している。また、ステレオタイプについては障害者、高齢者、性別に焦点を当てた検討を行っている。
- 2) スマートシティにおける諸技術への態度：本研究課題は、Society 5.0のもと、スマートシティ政策の中で導入される諸技術に焦点を当て、それに対する受容的（または非受容的）態度形成に影響する諸要因を明らかにすることを主な目的としている。日立東大ラボ・京大ラボの活動とも連携し、国内外のスマートシティ政策に関する情報収集、また、監視カメラ、健康サポートなど、プライバシー情報の収集につながる AI 活用技術や、自動運転車を対象とした調査研究を進めている。
- 3) 学際研究における社会心理学の役割—科学技術の ELSI を事例として：本研究課題では、「科学知・実践知・人文知」の融合領域として社会心理学を位置づけた上で、その立ち位置からの方法論の批判的検討を行うとともに、展開の可能性として「科学技術の ELSI」をとりあげ、主には工学や哲学領域と連携し、知見の健全な活用、成果を人々に伝達する際の諸問題についての検討を行う。本研究課題は、RISTEX でプログラム総括を務めている「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム（RInCA）」での活動とも連携しており、それを通じた総合知に関わる議論形成にも携わっている。

#### 自己評価

以上の研究課題は、科学研究費、外部資金、外部法人組織での活動と連携しており、有機的に研究活動を進めている。1)については「ロボット」「人工知能」など、人以外の対象に対する心的状態の推論に議論を拡張し、応用可能性を検討するための研究プロジェクトを工学関係の研究者と遂行しているが、そこでの知見は2)での社会受容研究や、3)での科学技術の ELSI 研究とも融合させることで、社会心理学に閉じない研究活動を心掛けている。得た研究成果は学会発表、論文という形で発信しているが、その多くは大学院生との共同研究であり、後継者育成についても努力している。特に、日立東大ラボ・京大ラボなどの産学連携研究には、学部生や大学院生も参画しており、企業に所属する主には理系の研究者と共に活動することを通して、視座を広めながら、社会心理学の知見がどのように社会貢献する

ことが可能なのかについても洞察する機会を提供している。研究活動は、科学哲学、工学などの研究者と進めているが、今後は、さらに研究のネットワークを広げるとともに、他分野に対しても積極的な研究の成果発信に努め、融合的領域としての社会心理学の基盤形成に尽力したい。

#### d 主要業績

##### (1) 著書

編著、唐沢かおり、『社会的認知—現状と展望』、ナカニシヤ出版、2020

##### (2) 論文

Kato, T., Kudo, Y., Miyakoshi, J., Otsuka, J., Saigo, H., Karasawa, K., Yamaguchi, H., Hiroi, Y., Yasuo, D., 「Sustainability and fairness simulations based on decision-making model of utility function and norm function」、『Applied Economics and Finance』、7、96-114 頁、2020

Kato, T., Kudo, Y., Miyakoshi, M., Otsuka, J., Saigo, H., Karasawa, K., Yamaguchi, H., & Deguchi, Y., 「Rational choice hypothesis as X-point of utility function and norm function」、『Applied Economics and Finance』、7、63-77 頁、2020

唐沢かおり、「データ駆動型社会における「人間中心」に向けた課題」、『横幹』、14、24-32 頁、2020

白岩祐子・栗本真奈・唐沢かおり、「形見の意味と故人との継続する絆」、『社会心理学研究』、36、49-57 頁、2020

清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「ギャンブル障害というラベリングがもたらす否定的態度への効果」、『認知科学』、28、161-167 頁、2021.1

清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「ステレオタイプ・エンボディメント理論における理論的補完の試み—社会的アイデンティティ理論に着目して—」、『人間環境学研究』、19、9-14 頁、2021

清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「多様な精神障害に対する人々の認知：ステレオタイプ内容モデルに着目して」、『社会心理学研究』、37、36-42 頁、2021

Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「The effect of impression formation on rejection in the ultimatum game.」、『Letters on Evolutionary Behavioral Science』、12、12-17 頁、2021

Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Social rewards in the volunteer's dilemma in everyday life」、『Asian Journal of Social Psychology』、25、117-125 頁、2021

谷辺哲史・唐沢かおり、「自動運転による事故とメーカー、ユーザーに対する責任帰属」、『実験社会心理学研究』、61、10-21 頁、2021

Shimizu, Y., Osaki, S., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「The social acceptance of collecting and utilizing personal information in smart cities」、『Sustainability』、13、9146 頁、2021

Shimizu, Y., Osaki, S., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「How do People View Various Kinds of Smart City Services? Focus on the Acquisition of Personal Information」、『Sustainability』、13、11062 頁、2021

Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Underlying dimensions of benefit and risk perception and their effects on people's acceptance of conditionally/fully automated vehicles」、『Transportation』、2021

Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Are the powerful retributive, forgiving, or both? Moderating role of power on people's responses to norm-violation.」、『Asian Journal of Social Psychology』、2021

清水佑輔・岡田謙介・唐沢かおり、「愛好家サブカテゴリーの顕現化によるギャンブラーへの潜在的態度の肯定化」、『実験社会心理学研究』、60、113-124 頁、2021.3

唐沢かおり、「自動運転に対する受容的態度とは：リスク・ベネフィット 認知に焦点を当てた調査からの示唆」、『自動車技術』、75、23-28 頁、2021.4

Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Influence of contact experience and germ aversion on negative attitudes toward older adults: Role of youth identity」、『Frontiers in Psychology』、13、829742 頁、2022.3

Shimizu, Y., Ishizuna, A., Osaki, S., Hashimoto, T., Tai, M., Tanibe, T., & Karasawa, K., 「The social acceptance of smart health services in Japan」、『Journal of Environmental Research and Public Health』、19、1298 頁、2022.1

Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Decreasing anti-elderly discriminatory attitudes: Conducting a 'Stereotype Embodiment Theory'-based intervention」、『European Journal of Social Psychology』、3、174-190 頁、2022.2

##### (3) 学会発表

国内、橋本剛明・ターン有加里ジェシカ・唐沢かおり・田井光春、「『データ駆動型社会』に対する人々の態度構造」、日本心理学会第 84 回大会、2020.9.8

国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「自動運転車に対する受容の規定因の検討」、日本心理学会第 84 回大会、2020.9.8

- 国内、清水佑輔・岡田謙介・唐沢かおり、「愛好家の存在を意識させギャンブラーへの潜在的態度を肯定化できるか」、日本認知科学学会第37回大会、2020.9.17
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「How Do People View Various Mental Illnesses?: A Preliminary Analysis to Classify the Stereotype of Illnesses into Four Categories Using the Stereotype Content Model.」、The 59th Annual Conference of Taiwanese Psychological Association、2020.10.17
- 国内、唐沢かおり、「人間中心な人と人工物との関係をめぐって」、第3回人工物工学コロキウム、2020.11.5
- 国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「日常的なボランティアのジレンマ状況における対人認知」、日本社会心理学会第61回大会、2020.11.7
- 国内、清水佑輔・ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「日本における障害者の象徴的偏見を測定する尺度の開発」、日本社会心理学会第61回大会、2020.11.7
- 国内、原惇一郎・鈴木昂・長倉由佳・谷辺哲史・飯田倫崇・唐沢かおり、「VRはコミュニケーションの質を高めるか? : 企業の1 on 1 ミーティング場面における実証的検討」、日本社会心理学会第61回大会、2020.11.7
- 国内、谷辺哲史・唐沢かおり、「人工知能による助言と自己決定: 就職活動を題材とした場面想定実験」、日本社会心理学会第61回大会、2020.11.7
- 国内、清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「ギャンブル障害者への否定的態度の軽減を目指して: ラベリングがもたらす影響の包括的検討」、日本健康心理学会第33回大会、2020.11.16
- 国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「スキルを必要としない協力行動は女性が行う傾向にあるのか? コストリー・シグナリング理論に基づいた検討」、日本人間行動進化学会第13回大会、2020.12.12
- 国際、Numata, T., Asa, Y., Hashimoto, T., Karasawa, K., 「Gender differences of emotion perception and subjective feelings induced by animated expressions of a non-human virtual agent」、The 22th Annual Convention of the Society for Personality and Social Psychology、2021.2.13
- 国際、Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Who incurs a cost for her group and when? The effect of justice sensitivity and previous interactions with other members on people's behavior in a volunteer's dilemma」、The 22th Annual Convention of the Society for Personality and Social Psychology、2021.2.13
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「A Preliminary Analysis of the Factors Related to Negative Attitudes Toward Elderly People」、The 11th Asian Conference on Psychology & the Behavioral Sciences, poster presentation、2021.3.29
- 国際、Shimizu, Y., Osaki, S., Tai, M., Hashimoto, T., Ito, K., Kaji, T., & Karasawa, K., 「What is important for promoting the social acceptance of Smart Cities?」、The 2021 Association for Psychological Science Virtual Convention、2021.5.26
- 国際、Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Justice beliefs, intervention, and apology affect people's attitudes toward target of injustice」、the 32nd International Congress of Psychology、2021.7.18
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Observing a "desirable" elderly person develops positive attitudes toward elderly adults: Focusing on prescriptive stereotypes」、The 14th Biennial Conference of Asia Association of Social Psychology、2021.7.29
- 国際、Tham, Y. J., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「People prefer equity in asymmetric volunteer's dilemmas.」、The 14th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology、2021.7.29
- 国際、Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Power and apology affects aggression toward a norm-violator: Analysis using the voodoo doll paradigm」、14th Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology、2021.7.29
- 国内、谷辺哲史・唐沢かおり、「人工知能の判断が生む差別と不公正認知」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、苔米地飛・唐沢かおり、「遺伝子への原因帰属が社会的排斥に与える影響: 異質性の認知に着目して」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「集団内の仕事分担の理想と現実: 非対称ボランティアのジレンマゲームを用いた検討」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「「あなたが抱く高齢者偏見はあなたの将来に悪影響をもたらす」: ステレオタイプ・エンボディメント理論を活用した高齢者偏見の軽減」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、唐沢かおり・田井光春・橋本剛明・清水佑輔・尾崎信・藤井聡、「スマートシティにおける社会受容と ELSI」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、川原瞳・橋本剛明・唐沢かおり、「日本語版 Career Aspiration Scale-Revised (J-CASR) の作成」、日本社会心理学会第62回大会、2021.8.26
- 国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「相手のネガティブな印象の確かさが不公平な分配を拒否する動機に与える影響: 繰り返しの最後通牒ゲームを用いた検討」、日本心理学会第85回大会、2021.9.1

- 国内、清水佑輔・竹内真純・唐沢かおり、「高齢者は「高齢者」や「若者」をどう捉えているのか」、日本心理学会第85回大会、2021.9.1
- 国内、ターン有加里ジェシカ・橋本剛明・唐沢かおり、「How much should and does the “strongest” member incur a cost for the group in an asymmetric volunteer’s dilemma?」、日本グループ・ダイナミクス学会第67回大会、2021.9.11
- 国内、清水佑輔・橋本剛明・唐沢かおり、「若者アイデンティティと感染嫌悪が及ぼす高齢者偏見への影響」、日本グループ・ダイナミクス学会第67回大会、2021.9.11
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「What makes elderly people view themselves negatively?」、Aging & Social Change: 11th Interdisciplinary Conference、2021.9.23
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Ageism and related factors: Focusing on the social identity theory and disease avoidance mechanisms」、Society for Personality and Social Psychology: 2022 Annual Convention、2022.2.16
- 国際、Shimizu, Y., Hashimoto, T., & Karasawa, K., 「Implicit anti-elderly attitudes and subjective time to become elderly」、The 12th Asian Conference on Psychology and the Behavioral Sciences、2022.3.29

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

- 「人が主役となる人工物との関係性構築について～社会心理学的見地から」、HCMi コンソーシアム2021年新春セミナー、2021.1.22
- 「デジタルは『ちょうどいい道具』になれるのか ～個人データと自己の関係～」、『混沌(カオス)を生きる』(デジタルの日イベント) RISTEX、2021.10.10
- 「科学技術の倫理的・法制的・社会的課題(ELSI)への包括的実践研究開発プログラム(RInCA)～ELSI/RRRにとってなにが重要か…自動運転に関する議論の貢献にむけて～」、日本学会会議学術フォーラム:ELSIを踏まえた自動運転の社会実装、2021.12.13
- 「新たな価値を協創するための人文・社会科学と自然科学の知の融合「総合知」を考える」、CRDS 俯瞰ワークショップ、2021.12.22

#### (2) 学会

- 日本心理学会代議員、2021.4～
- 科学基礎論学会理事、2020.4～
- 科学哲学会理事、2020.4～

#### (3) 行政

- 学会会議(第一部)、連携会員、2020～
- 学会会議、自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会、2020～
- 東京都火災予防審議会委員、2020～
- 大学設置・学校法人審議会専門委員、2021.11～

#### (4) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

- 独立行政法人日本学術振興会・学術システム研究センター専門研究員、2020.4～
- 独立行政法人、科学技術振興機構、RISTEX 研究開発プログラム総括、2020.4～
- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構、国立大学教育研究評価委員会専門委員、2020.2～2021.3
- 自動車技術会モビリティ社会部門委員会委員、2021.4～
- 公益財団法人国際科学振興財団、学術審査検討委員会委員、2021.1～
- 早稲田大学高等研究所人事委員、2020.4～
- 国立研究開発法人・科学技術振興機構 創発的研究支援事業アドバイザー、2021.6～